

# 樹脂材料の耐熱性評価のご案内

## ビカット軟化温度試験

樹脂材料は様々な環境下で広く用いられています。一般に樹脂材料の耐熱性は、樹脂の限界温度をいい、その限界温度を確認する一つの尺度としてビカット軟化温度(VST: Vicat Softening Temperature)があります。

ビカット軟化温度は、結晶性樹脂の融点や非結晶性樹脂のガラス転移温度と密接な関係があるといわれているため耐熱性の評価としては重要です。

### 試験概要

試験片に規定の荷重(10N又は50N)を負荷したまま、油槽の温度を50°C/h又は120°C/hで昇温させ、圧子が試験片の表面から1mmの深さまで侵入したときの温度をビカット軟化温度(単位:°C)とします。

### 適用規格

JIS K7206

ISO306

ASTM D1525



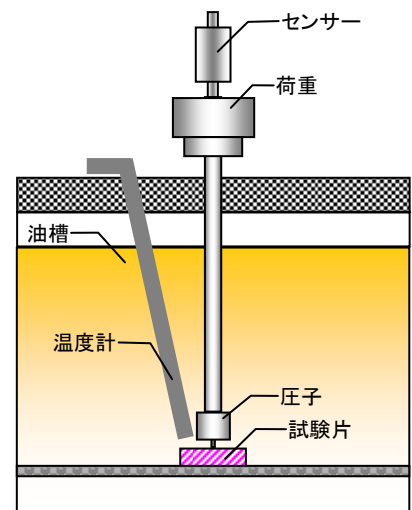
試験装置

### 装置仕様

装置名称:HDT試験装置 S6-MH  
(株)東洋精機製作所製

温度範囲:常温~300°C

試料個数:1~6個(同一槽)



試験装置機構図

### 評価事例

- ・樹脂材料、自動車用内装材及び樹脂部品の製品規格
- ・製品の材料品質の相対的評価

本機構は、樹脂製品を切削加工し、試験片作製～試験まで一貫して行うことが可能です。

**CERI** 一般財団法人 化学物質評価研究機構  
Chemicals Evaluation and Research Institute, Japan

### 名古屋事業所

〒466-0858 愛知県名古屋市昭和区折戸町4-1

TEL:052(761)1185 FAX:052(762)6055

URL <http://www.cerij.or.jp>